

# 親子の決定勢力に関する研究

松 本 卓 三

昭和50年 9 月16日受理

## 問 題

情報化時代といわれる今日、マス・コミュニケーションの影響はかなりのものが認められ、特にテレビによる影響は家庭のみではとても防止できるものではなくなっている。家族でテレビを視聴をしている場合、一見家族が揃って団欒の場をもっているように見えても、家族の成員はそれぞれテレビと直接結びついており、家族相互のつながりは殆んどないといってもよい現状である。テレビ視聴が長時間にわたれば、夫婦はもちろん夫婦と子供とが話し合う時間も極度に短くなり、家族相互の意志の疎通も十分にできにくくなってくる。

家族相互の意志の疎通をはかるべき方法は種々考えられるが、その方法を見い出すためには、先ず現在の家族(親子)の決定勢力の実態をとらえることから出発すべきだと思う。今迄にも家族の勢力構造に関する研究はかなりなされてきている。その主なものを挙げると、Blood, R.O.Jr. and Wolfe, D.M. (1960)、増田光吉 (1966)、伊藤富美 (1968) などがある。しかし親子の勢力構造に関する研究は数少ない。そこで本研究においては、夫と妻と子供との三人の勢力構造が子供の発達によっていかに異なっていくかということを少しでも明らかにしたいと思うのである。

## 方 法

### 1 対 象

調査は、広島市に隣接する広島県佐伯郡廿日市町内にある学校の児童・生徒とその両親であった。

幼稚園児とその両親、小学2年児童とその両親、小学5年児童とその両親、中学2年生徒とその両親、高校2年生徒とその両親で合計1357組であった。回収率76.9%。

### 2 調査内容

Blood, R.O.Jr. and Wolfe, D.M. のデトロイト調査の8つの質問項目に、教育に関する12の質問項目を加えて、表1・表2・表3・表4・表5の上欄のような質問項目を作成した。それぞれの質問項目に対しては、図1をみて、それぞれの符号(例えば夫と妻とが話し合っていて二人で決める場合は“オーツ”のように)で答えさせた。

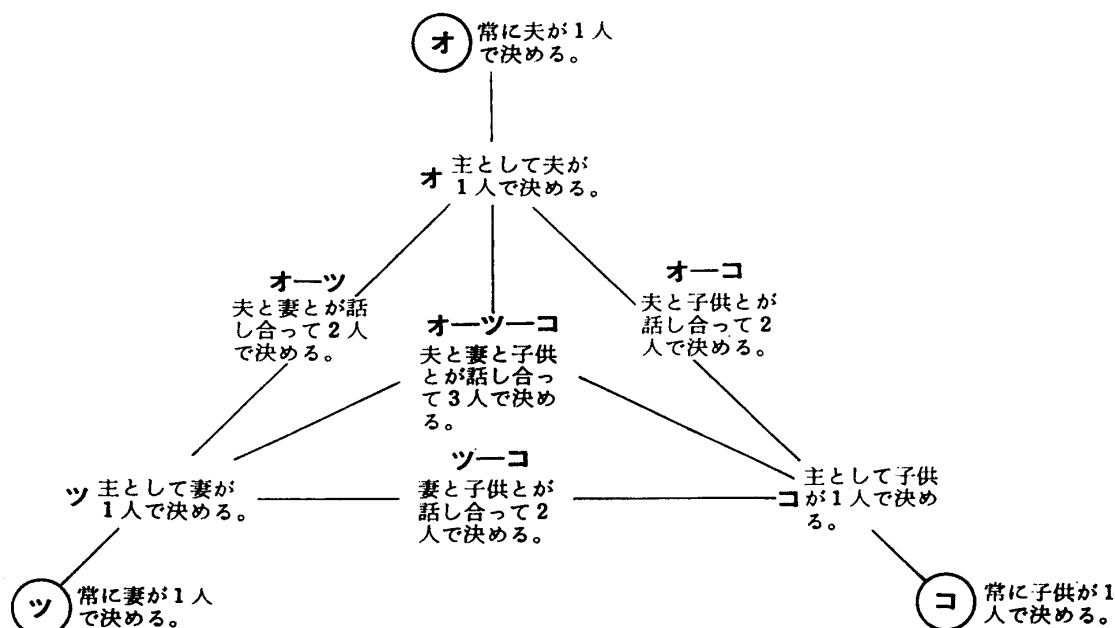


図1. 決定方法の型

### 3 調査実施の方法

学校の担任教師を通じて調査用紙を児童・生徒に配布し家庭にもち帰らせ、家庭で児童・生徒とその両親とが相談して調査用紙に記入の上、担任教師を通じて提出させた。

### 結 果 と 考 察

各質問項目毎に、それぞれの決定方法の型の数を集計し、それらの数の百分比を算出し、表1・表2・表3・表4・表5のように整理した。

つぎに各質問項目毎に学年の比較を $\chi^2$ 検定で行ない、それぞれ有意性の検定をし、表6のように整理した。

つぎに各質問項目毎に、その結果の概略を述べる。

1 「夫の職業」については、夫の決定する場合が非常に多い。しかし夫のみで決定する場合は、子供の成長とともに徐々に減少し、夫と妻と話し合って二人で決める場合が徐々に増加してきている。子供が決定に参加する場合は全体を通じてほとんどない。

2 「自動車の購入」については、夫や妻の決定する場合が子供の成長にしたがって減少し、逆に子供が決定へ参加する場合が増してきている、しかし子供のみで決定する場合はない。

3 「生命保険の加入」については、夫と妻とが話し合って二人で決める場合が圧倒的に多い。子供は決定に殆んど参加していない。

4 「住居の建築等」については、子供が年少であるほど、夫と妻とで話し合って二人で決める場合が多いが、子供が成長するにつれ、子供が決定に参加する場合が増してきている。すなわち夫と妻と子供とで話し合って三人で決定する場合が多くなっていく傾向があ

る。

5「妻の就職」については、子供の成長につれ、夫と妻とで話し合って二人で決定する場合が減少してきている。中学生の頃から子供が決定に参加する場合が増してきている。妻が一人で決める場合は全体を通じ、あまり多くなく、変化もあまりしていない。

6「医師の選択」については、どの学年をみても夫と妻と話し合って二人で決める場合が大体半数以上である。それについて妻一人で決定するケースが多いが、子供の成長につれその場合は減少していく傾向にある。子供の決定への参加は殆んどない。

7「食費の予算」については、妻が一人で決める場合が殆んどで、その割合も80%~90%の高率になっている。子供や夫の決定への参加はあまりないと考えてよい。

8「家族のリレーション」については、夫と妻とで話し合って決定する場合と、夫と妻と子とで話し合って三人で決める場合とが殆んどであるが、その両者の割合は子供が年少の頃には大体同率である。しかし子供が成長するにつれ、前者の割合が徐々に減少し、後者の割合が増してきている。

9「家庭内の仕事の役割分担」については、子供が幼少の頃は、妻が一人で決める場合が多い。しかし子供が成長するにつれ、夫と妻と子供とで話し合って三人で決める場合が多くなり、夫と妻とで話し合って二人で決める場合と、妻が一人で決める場合が減少してきている。

10「子供の勉強」については、子供が幼少の頃は妻が一人で決める場合が多いが、中学、高校になると一段と子供が一人で決定するケースが多くなってきている。その際は親は殆んど決定へ参加していない。

11「子供の友達づきあい」については、子供が幼少の頃は、妻が一人で決める場合、ついで妻と子供とで話し合って二人で決める場合が多い。けれども中学、高校になると一段と子供が一人で決める場合が増してきている。夫の決定への参加は殆んどないようである。

12「子供のテレビ視聴」については、子供が幼少の頃は妻や夫がこの決定に参加している場合がかなりあるけれども、子供が成長するにつれ子供のみで決める場合が一段と増してきている。小学2年ですら42.9%の高率である。

13「子供の図書の購入」については、質問項目「10」と「11」と大体同じ傾向にある。子供が幼少の頃は親と子供とで話し合って決める場合が多いが、中学、高校になると子供が一人で決める場合が多くなってきている。夫と妻とがその決定に参加するということが少なくなっている。

14「子供の小遣」については、全体を通じ妻がこの決定に関係している。夫や子供が単独で決定する場合は殆んどない。妻と子供とで話し合って決める場合が、子供が成長するにつれて多くなっている。

15「子供の高額なものの購入」については、常に親がこの決定に関係している。夫と妻とが話し合って二人で決定するケースが、子供が幼少の頃ほど多いが、段々とそのようなこ

とが少なくなり、夫と妻と子供とで話し合って三人で決める場合が増してきている。

16「子供の起床時刻と就寝時刻」については、子供が幼稚園の頃は妻が一人で決める場合が、非常に多いが、子供が小学生の頃になるとそうした場合が、一段と少なくなり、妻と子供とで話し合って二人で決める場合が多くなる。子供が中学になると、子供一人で決める場合が多くなり、高校になるとより一層子供一人で決める場合が多くなる。

17「子供の賞罰」については、この質問項目は子供の成長による差があまり認められない。全体を通じて夫と妻とで話し合って二人で決める場合が多い。

18「子供の進学」については、全体を通じて夫と妻と子供とで話し合って三人で決める場合が多いが、子供が幼少の頃は夫と妻とで話し合って二人で決める場合もかなり多い。しかし子供が成長するにつれ、そうした場合は非常に少なくなってきている。

19「子供の就職」・20「子供の結婚」の2つの質問項目はいずれも将来の予想についてである。子供の発達とともに夫と妻と子供とで話し合って三人で決める場合が多くなってきている。

つぎに本研究の結果を関係のある諸研究と関連づけて述べていく。Blood, R. O. Jr. and Wolfe, D. M. (1960)によると、夫に主導権があるのは「夫の職業選択」「自動車の購入」の二領域で、妻に主導権があるのは「食費の予算」「医師の選択」「妻の職業」で、夫と妻が二人で決めるものは「生命保険の加入」「休日の旅行」「住居の選択」である。こうしたことは本研究の結果と大体一致している。本研究では、夫に主導権があるのは質問項目の(1)・(2)で、妻に主導権があるのは質問項目(5)・(6)・(7)で、夫と妻とが二人で決めるものは質問項目(3)・(4)・(8)・(15)である。伊藤富美(1968)は重要な領域ほど決定権の存在は夫側に偏っていると述べているが、本研究においても大体そうした傾向が見い出せる。

牛島義友(1955)は食事、睡眠、排泄、清潔、着衣などの基本的習慣においては、早期より自立の習慣をつけることが、教育として大切であり、母親は非常に心を配っているが、少年期、青年期にはその配り方が非常に少ない。性格、行動、勉強については幼年期、少年期に非常に気を配っていると述べている。この研究の結果からも大体そうしたことがいえる。質問項目(10)・(11)・(13)・(16)をみると子供が年少なほど母親の勢力が強く、子供が成長するにつれ段々と子供の勢力が母親のそれをしのいできている。

NHK総合放送文化研究所の研究(1970)において、家族成員間でテレビのチャンネル争いのトラブルが起こったとき、その解決はルールがない場合には子供のうちの誰かが自分のみたい番組をみることによって決着することが多いといっている。また小山隆(1967)は夕食後のテレビ番組の選択者として子供を挙げるものが多く、特に40才代の被調査者の実に81%が子供を挙げていと述べている。本研究の結果も大体上述のことと同じ傾向にある。質問項目(12)では幼稚園より高校にいたるまで子供の勢力が夫や妻をしのいでいる。

依田新(1958)は中学生と高校生に対して「進学」「職業の選択」「結婚の相手の選択」

表 1 決定者の一覧表 ① (欄内の数字は百分比)

決定者	調査項目番号 調査項目(質問)	1					2					3					4				
		夫の職業に関するいろいろのことからについては					自動車を購入される場合は					家族の生命保険の加入については					住居の建築, 購入, 転宅等については				
		幼	小 二	小 五	中 二	高 二	幼	小 二	小 五	小 二	小 五	高 二	幼	小 二	小 五	小 二	小 五	高 二	幼	小 二	小 五
決 定 者	④ 常に夫が一人で決める	21.7	15.2	18.7	10.8	16.9	3.6	3.8	3.7	5.1	5.1	3.6	1.0	1.8	0.7	3.0		0.5	0.5	1.0	0.8
	オ 主として夫が一人で決める	60.2	55.7	51.6	52.0	46.2	25.3	16.7	22.8	19.6	16.1	9.6	12.4	11.4	9.8	12.3	10.8	4.8	8.2	5.4	8.5
	オーツ 夫と妻とが話し合って二人で決める	14.5	22.9	25.6	31.1	31.4	63.9	62.9	49.3	41.9	30.5	73.5	74.8	72.1	75.7	67.4	86.7	85.2	70.8	62.2	53.4
	ツ 夫として妻が一人で決める	1.2	0.5				2.4	1.0	0.5	0.7		12.0	8.6	11.0	9.1	10.2	1.2	1.0	1.4		
	⑤ 常に妻が一人で決める		0.5	0.5	0.3						0.4	1.2	1.0	0.5	0.7	2.5				0.3	
	オーツ-コ 夫と妻と子供とが話し合って三人で決める		0.5	0.5	2.4	4.7	3.6	7.6	16.9	23.0	39.4		0.5	1.4	2.7	4.7	1.2	5.7	16.4	26.7	34.7
	オーコ 夫と子供とが話し合って二人で決める							0.5	0.5	2.7	3.0				0.3					0.3	
	ツ-コ 妻と子供とが話し合って二人で決める								0.9		1.7				0.7					0.3	0.4
	コ 主として子供が一人で決める										0.3										
	⑥ 常に子供が一人で決める										0.3										
そ の 他		2.4	4.8	3.2	3.4	0.8	1.2	7.6	5.5	6.4	3.8		1.9	1.8	0.3			2.9	2.7	3.4	2.1
計		100.0	100.1	100.1	100.0	100.0	100.0	100.1	100.0	100.0	100.0	99.9	100.2	100.0	100.1	100.1	99.9	100.1	100.1	99.9	99.9

幼稚園児とその両親83組, 小学2年児童とその両親210組, 小学5年児童とその両親219組中学, 2年生徒とその両親296組, 高校2年生徒とその両親236組, 合計1044 (回収率76.9%)

表 2 決 定 者 の 一 覧 表 ② (欄内の数字は百分比)

調査項目番号 調査項目(質問) 決定者	5 妻の就職(パートタイム含む)については					6 家族に病人がでたときどの医師にかかるかは					7 食費の予算については					8 家族のリクレーションについては				
	幼	小	小	中	高	幼	小	小	中	高	幼	小	小	中	高	幼	小	小	中	高
	二	五	五	二	二	二	二	五	二	二	二	二	五	二	二	二	二	五	二	二
① 常に夫が一人で決める	1.2	0.5	0.9	0.3	1.3				0.3	1.3					0.4	1.2				
オ 主として夫が一人で決める	2.4	2.9	3.2	2.0	2.1	9.6	4.3	5.0	7.8	8.5		1.0		0.7	1.3	4.8	2.9	3.2	5.1	3.0
オーツ 夫と妻とが話し合って二人で決める	66.3	60.0	51.6	49.7	47.0	49.4	51.4	55.7	60.8	56.4	6.0	10.5	11.4	14.9	8.5	43.4	34.3	26.0	15.2	14.4
ツ 主として妻が一人で決める	15.7	17.1	20.5	21.6	18.2	34.9	37.1	32.4	20.3	22.5	63.9	68.1	66.2	64.9	57.6	2.4	3.3	5.9	5.1	4.7
② 常に妻が一人で決める	2.4	2.9	3.2	0.7	3.0	6.0	4.8	3.7	1.4	3.0	30.1	19.0	20.1	17.2	29.7	1.2	0.5		1.0	0.4
オーツ 夫と妻と子供とが話し合って三人で決める	1.2	6.7	6.8	14.2	16.5		1.4	0.9	4.4	6.8			0.5	1.0	0.8	44.6	54.8	58.4	62.5	63.6
オーコ 夫と子供とが話し合って二人で決める		0.5	0.5	0.3			1.0	0.5	0.7					0.3			1.0	2.7	1.7	1.7
ツ 妻と子供とが話し合って二人で決める	1.2		0.9		0.8				1.4	0.4				0.7	1.3	2.4	1.9	1.8	4.7	5.5
コ 主として子供が一人で決める																		0.5	3.0	3.8
③ 常に子供が一人で決める																				
そ の 他	9.6	9.5	12.3	11.1	11.0			1.8	3.0	1.3		1.4	1.8	0.3	0.4		1.4	1.4	1.7	3.0
計	100.0	100.1	96.9	99.9	99.9	99.9	100.0	100.0	100.1	100.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.1	99.9	100.0	100.1

表 3 決定者の一覧表 ③ (欄内の数字は百分比)

決定者	9				10				11				12									
	調査項目番号 調査項目(質問)				お子さまの役割分担について				お子さまの勉強の時刻、時間、方法については				お子さまの友だちづきあいに関するところについて				お子さまがご覧になるテレビ番組の選択については					
	学	年	小 二	小 五	中 二	高 二	幼	小 二	小 五	中 二	高 二	幼	小 二	小 五	中 二	高 二	幼	小 二	小 五	中 二	高 二	
④ 常に夫が一人で決める オ 主として夫が一人で決める オーツ 夫と妻とが話し合って二人で決める ツ 主として妻が一人で決める ⑤ 常に妻が一人で決める オーツーコ 夫と妻と子供とが話し合って三人で決める オーコ 夫と子供とが話し合って二人で決める ツーコ 妻と子供とが話し合って二人で決める コ 主として子供が一人で決める ⑥ 常に子供が一人で決める そ の 他 計			0.5	1.4		0.4													0.5			
			6.0	7.1	7.8	6.4	3.0	1.2	0.5		0.7	0.4			0.5	0.7	0.4		1.4	1.4	2.7	0.8
			25.3	22.9	17.4	13.2	14.0	15.7	6.2	7.8	5.7	2.1	13.2	7.1	5.0	7.4	5.5	6.0	7.6	7.3	3.4	1.7
			44.6	25.7	27.9	26.0	26.7	26.5	26.2	23.3	12.5	8.5	20.5	20.0	22.4	8.8	4.2	8.4	6.2	7.8	3.4	1.3
			4.8	1.9	1.4	3.7	2.5	12.0	4.8	1.4	0.7		10.8	1.0	1.8	1.0	0.8	3.6	0.5	0.5	0.7	
		15.7	27.1	27.4	31.1	35.6	13.3	14.8	11.4	10.1	3.0	1.81	9.0	9.1	9.5	9.7	21.7	17.6	17.4	12.5	7.6	
					0.7	1.3			2.3	1.7	1.7		1.0		0.7	0.8	2.4	5.7	5.0	4.7	4.2	
		3.6	11.9	14.2	15.5	12.7	26.5	38.6	29.7	17.6	12.7	20.5	28.6	25.6	24.7	16.9	34.9	17.6	17.8	10.5	5.1	
					0.3	0.8	3.6	8.1	21.0	40.5	42.4	14.5	28.6	30.6	40.9	39.8	18.1	38.6	37.0	53.7	54.7	
						0.4		1.0	2.3	9.8	28.0	2.4	2.4	4.6	5.7	21.2	4.8	4.3	4.1	6.8	23.8	
			2.9	2.7	3.0	2.5	1.2		0.9	0.7	1.3		2.4	0.5	0.7	0.4		0.5	1.4	1.7	1.3	
		100.0	100.0	100.2	99.9	99.9	100.0	100.2	99.9	100.0	100.1	100.1	100.1	100.1	100.1	99.9	99.9	100.0	100.2	100.1	100.0	

表 4 決 定 者 の 一 覧 表 ④ (欄内の数字は百分比)

調査項目番号 調査項目(質問) 決定者	13 お子さまがお読みになる図書の購入については					14 お子さまのお小遣いに関することがらについては					15 お子さまが何か高額なものを購入してほしいという時は					16 お子さまの起床時刻と就寝時刻については								
	幼	小一	小二	小五	中二	高二	幼	小一	小二	小五	中二	高二	幼	小一	小二	小五	中二	高二	幼	小一	小二	小五	中二	高二
	年																							
④ 常に夫が一人で決める  オ 主として夫が一人で決める  オーツ 夫と妻とが話し合って二人で決める  ツ 主として妻が一人で決める		0.5	0.5									0.4	1.2	0.5	0.5									0.4
	2.4	4.3	1.8	1.0	0.4			0.5			1.4	0.8	2.4	2.9	7.8	9.8	3.4		3.8	3.7	1.0	1.3		
	15.7	11.9	5.9	4.4	1.8		13.3	15.7	12.3	13.5	8.5		43.4	41.9	36.5	29.7	21.2		14.5	12.9	7.8	6.4	0.8	
	21.7	12.9	14.6	6.4	3.0		32.5	20.5	23.3	15.9	19.1		4.8	2.4	1.4	2.4	5.9		41.0	24.3	25.6	18.2	9.7	
⑤ 常に妻が一人で決める  オーツコ 夫と妻と子供とが話し合って三人で決める  オーコ 夫と子供とが話し合って二人で決める  ツコ 妻と子供とが話し合って二人で決める		6.0	1.4	2.7	2.0		6.0	2.4	3.2	2.7	3.4				0.5	0.3	0.4		8.4	0.5	2.7	1.7	1.7	
	24.1	17.6	16.9	10.8	3.0		20.5	20.2	24.2	22.3	17.4		41.0	47.6	45.2	50.7	51.7		4.8	13.8	13.2	7.1	3.0	
	2.4	1.9	4.6	4.4	2.5			1.0	1.8	0.7	4.7		2.4	2.9	3.7	3.7	8.5			1.4	1.4	1.4		
	27.7	36.7	31.1	23.6	14.4		21.7	38.1	33.3	41.6	40.7		3.6	1.4	3.7	3.0	6.8		27.7	31.9	32.0	26.7	18.2	
コ 主として子供が一人で決める		11.4	19.6	41.2	51.7		1.2	1.4	0.5	1.7	3.8		1.2	0.5			0.8		3.6	10.5	11.0	31.4	46.2	
⑥ 常に子供が一人で決める		1.4	1.4	5.4	22.5		1.2				1.3									0.5	2.3	5.1	17.4	
その他の			0.9	1.7	1.3		3.6	0.5	1.4	0.3					0.9	2.0				0.5	0.5	1.0	1.3	
計	100.0	100.0	100.0	99.9	100.1	100.0	100.0	100.1	100.0	100.1	100.1	100.1	100.0	100.1	100.2	99.9	100.0	100.0	100.0	100.1	100.2	100.0	100.0	100.0

表 5 決 定 者 の 一 覧 表 ⑤ (欄内の数字は百分比)

調査項目番号 調査項目(質問)	17						18						19						20					
	お子さまが何かよいことを した時、悪いことをした時 の処置については						お子さまの進学に関するこ とがらについては						お子さまの就職に関するこ とがらについては						お子さまの結婚に関するこ とがらについては					
	幼	小	小	中	高	二	幼	小	小	中	高	二	幼	小	小	中	高	二	幼	小	小	中	高	二
④ 常に夫が一人で決める													2.4											
オ 主として夫が一人で決める	1.2	4.3	5.5	5.1	7.6		2.4	1.0	1.8	0.7	2.1		2.4	1.4	3.2	1.4	2.5		1.2			1.0		
オーツ 夫と妻とが話し合って二人で決める	49.4	60.0	51.6	57.1	43.2		37.4	31.9	32.0	23.0	9.3		18.1	21.4	18.3	16.2	6.8		18.1	20.0	21.5	15.9	9.3	
ツ 主として妻が一人で決める	31.3	16.7	20.1	16.2	19.5		1.2	1.0	3.2	1.7	0.4		1.2	0.5	1.4	0.3			1.2	0.5	0.9			
ウ 常に妻が一人で決める	2.4	1.0	0.9	1.0	2.5					0.3				0.5		0.3			1.2			0.3		
オーツ-コ 夫と妻と子供とが話し合って三 人で決める	10.8	11.0	15.1	13.2	13.5		50.6	60.0	60.7	67.9	73.7		59.0	63.3	64.8	70.9	73.7		60.2	64.3	68.5	73.0	79.7	
オーコ 夫と子供とが話し合って二人で 決める		0.5	0.5	1.0	1.3		1.2	1.0	0.9	1.7	4.7		3.6	1.4	4.1	3.4	3.8							
ツ-コ 妻と子供とが話し合って二人で 決める	3.6	5.7	3.2	3.4	5.5		2.4	0.5		1.7	3.8		2.4	1.0	0.5	2.0	3.4		1.2	1.4		1.7	0.4	
コ 主として子供が一人で決める				0.3	1.3		2.4	0.5	0.5	2.4	4.2		6.0	2.9	2.7	3.0	4.7		12.0	4.8	2.7	4.7	5.1	
⑤ 常に子供が一人で決める											0.4			0.5			0.8			0.5	0.9	0.3	1.3	
そ の 他	1.2	1.0	2.7	2.7	4.7		1.2	4.3	0.9	0.7	1.3		4.8	7.1	5.0	2.4	4.2		4.8	8.6	5.5	3.0	4.2	
計	99.9	100.2	100.1	100.0	99.9		100.0	100.2	100.0	100.1	99.9		99.9	100.0	100.0	99.9	99.9		99.9	100.1	100.0	99.9	100.0	

表 6 調査(質問)項目毎の学年比較

— $\chi^2$  検定による—

項目 番号	比較学年 調査項目 df	幼一 小 2	幼一 小 5	幼一 中 2	幼一 高 2	小 2— 小 5	小 2— 中 2	小 2— 高 2	小 5— 中 2	小 5— 高 2	中 2— 高 2	全
		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	40
1	夫 の 職 業	5.60	7.73	* 18.91	* 21.43	2.79	9.61	* 20.65	9.48	13.74	12.71	** 92.92
2	自 動 車 の 購 入	9.17	16.37	** 28.69	** 63.51	15.96	** 34.00	** 84.92	12.77	** 40.45	** 27.93	** 291.28
3	生命保険の加入	4.76	13.77	10.27	5.20	4.88	16.80	7.89	7.93	13.29	13.30	43.85
4	住 居 の 建 築 等	15.52	16.40	** 36.27	** 47.21	15.74	** 44.12	** 66.50	15.30	** 24.62	8.46	** 141.98
5	妻 の 就 職	7.28	0.51	* 20.50	** 60.48	4.68	14.02	16.46	14.73	13.47	12.66	** 89.78
6	医 師 の 選 択	5.04	5.83	* 21.53	13.81	5.62	** 35.32	** 31.53	* 21.63	** 34.44	9.63	** 76.21
7	食 費 の 予 算	6.59	6.25	* 23.12	3.12	3.22	8.10	13.96	1.29	15.11	17.66	3.13
8	家族のリクレー ーション	6.30	* 18.88	** 38.13	** 40.16	6.82	** 34.86	** 36.04	** 67.77	** 30.62	3.09	** 95.00
9	家庭内の仕事の 役割分担	* 19.02	* 22.95	** 29.98	* 20.74	17.10	13.00	16.59	11.07	** 67.57	8.57	** 65.77
10	子 供 の 勉 強	** 55.03	** 37.75	** 83.00	** 173.60	2.92	** 56.06	** 149.05	** 45.27	** 118.85	** 46.07	** 369.78
11	子供の友達づき あい	** 41.84	** 30.26	** 51.05	** 73.40	9.09	** 24.24	** 70.56	** 23.79	** 62.79	** 35.17	** 196.06
12	子供のテレビ視 聴	** 23.73	** 23.34	** 81.98	** 107.63	1.97	** 33.35	** 77.38	** 26.68	** 100.10	** 40.75	** 193.14
13	子供の図書購入	** 23.91	** 31.20	** 81.49	** 170.44	22.91	** 81.97	** 189.10	** 56.65	** 145.69	** 233.65	** 377.20
14	子 供 の 小 遣	* 18.78	12.23	** 30.40	** 28.49	6.31	3.29	* 22.34	13.54	** 58.19	* 22.02	** 80.18
15	子供の高額なも のの購入	3.96	11.14	* 18.42	* 18.92	12.05	* 19.38	** 35.99	5.51	** 31.44	** 31.12	** 81.75
16	子供の起床、就 寝時刻	** 32.38	** 26.27	** 55.86	** 119.15	11.33	** 52.32	** 174.34	** 40.07	** 134.73	** 55.81	** 306.41
17	子 供 の 賞 罰	10.64	8.82	13.23	14.77	7.64	4.96	* 20.87	4.22	10.42	17.98	49.28
18	子 供 の 進 学	11.63	13.50	15.43	** 40.32	10.25	17.81	** 54.23	15.04	** 56.15	** 28.73	** 118.70
19	子 供 の 就 職	11.22	10.69	13.87	* 20.22	8.54	13.00	** 31.71	9.99	** 24.62	* 19.52	** 72.35
20	子 供 の 結 婚	11.78	* 19.36	12.39	* 21.50	6.39	13.46	* 18.46	15.40	17.79	** 28.09	* 58.36

(\*\* 0.01%水準で有意。 \* 0.05%水準で有意。)

などの調査をしている。それらによると中学生においては決める場合、父あるいは母の判断に従うのをよいとしている場合が多くみられるが、高校生になると次第に独立の傾向を強め、両親の支配、保護から解放されたいと考えるようになる。そして青年たちは自分自身で物事を決定するのをもっともよいことだと考えるようになる。しかし自分については両親の意見に従うのをもっともよいとする場合が多くみられる。兄弟・妹姉・友人・教師などはあまり選ばれていない。自分の将来について進学しようか就職しようかという問題で困っている場合、相談相手として先ず父親が多く選ばれ、ついで母親が相談相手として多くの者によって選ばれており、父親・母親とを合わせればほとんど50%以上の者が父母に相談することをあらわしている。青年たちは自主的になってくるとはいえ、相談者、指導者としての両親までも否定しているのではないと述べている。本研究の結果も大体一致した傾向がでている・質問項目(18)・(19)・(20)をみると、それぞれ重要な問題なのでよく相談して決めるべきだということが、よく表われている。

湯沢雅彦(1969)は現在の核家族においては、親子関係が上下(権威)関係というより水平(親和)関係に近づいていると述べている。このことから考えてみると現在の子供の教育では、一見民主的に話し合って事を進めているように形としてはみえるが、親が子供の教育に対して自信がないこと、躰の基準をもっていないことが話し合いということになっているともみられる。この点今一度考えてみる必要がある。

森岡清美(1967)は親の権威は一定期間に限られる傾向がある。子供の躰の期間、保護の期間においては、親の権威は是認されるものであるが、子供が成人し独立した暁には親子の権威関係は変化するとみるのが、現代では一般的であると述べている。この研究においても特に子供に関係のある質問項目において顕著に権威関係が変化している。

## 要 約

本研究は家族(親子)の勢力構造が、子供の各発達段階でいかに変化していくかを明らかにするものである。

調査対象は、幼稚園児・小学2年児童・小学5年児童・中学2年生徒・高校2年生徒とそれらの両親で1357組である。調査用紙はBlood, R.O.Jr. and Wolfe, D.M. のデトロイト調査を参考にして作成した。調査用紙は児童・生徒を通じて家庭へ配布し、記入の上提出させた。

結果の要点を次に述べる。

夫の勢力が子供の成長とかかわりなく、妻や子供の勢力より強いのは――「夫の職業」「自動車の購入」。

夫と妻の勢力がほぼ等しく彼等の勢力が子供の成長とかかわりなく強いのは――「生命保険の加入」「住居の建築等」「子供の高額な物の購入」「子供の賞罰」。

妻の勢力が子供の成長とかかわりなく、夫や子供の勢力より強いのは――「妻の就職」

「医師の選択」「食費の予算」「家庭内の仕事の役割分担」「子供の小遣」。

子供の成長により夫と妻の勢力が弱まり，夫と妻と子供の勢力がほぼ等しくなるものは——「家族のリクレーション」「子供の進学」。

妻の勢力が夫や子供の勢力より強かったのが，子供の成長により弱まり，逆に子供の勢力が強くなるものは——「子供の勉強」「子供の友だちづきあい」「子供の図書購入」「子供の起床と就寝時刻」。

子供の勢力が幼少の頃より，夫や妻の勢力より強いのは——「子供のテレビ視聴」

夫と妻と子供の勢力が，子供の成長とあまり関係なくほぼ等しいものは——「子供の就職」「子供の結婚」。

## 文 献

- Blood, R. O. Jr. and Wolfe, D. M., 1960 *Husbands and Wives*, Glencoe: Free Press
- 伊藤富美 1968 家庭生活における決定行為の重要度について 家政学雑誌 19巻 4号 80—82
- 小山 隆 1967 現代家族の役割構造 —夫妻・親子の期待と現実— 培風館
- 増田光吉・大橋 薫 1966 家族社会学 川島書店 24—38
- 森岡清美 1967 家族社会学 有斐閣 60—62
- NHK総合放送文化研究所 1970 子どものテレビ視聴環境(その1) —親の属性およびテレビ観—  
文研月報 2月号 NHK出版協会 224—225
- 依田 新 1958 家族の心理 培風館 70—88
- 湯沢 雅彦 1969 家族関係学 光生館 55—79
- 牛島義友 1955 家族関係の心理 金子書房 63—72

## Decision-Making Powers between Parents and Children

Takuso Matsumoto

The study is to show how changes the relation of powers between the parents and children in the family.

The subjects of investigation were composed of 1357 families which include the parents and children who are a kindergartner and a second and a fifth grade pupils in elementary school and a second grade student in junior high school and a second grade student in senior high school.

The papers for investigation was prepared with reference to the Survey of Detroit by Blood, R. O. Jr. and Wolfe, D. M. and to its eight questioning items were added twelve ones about the education of children, summing up to twenty.

The results were classified into seven power structures.